

社会性マネジメント

方針・考え方

当社グループは、社会性重点テーマにおけるありたい姿の実現に向けて、社会性行動計画を策定、社会課題の解決と企業収益向上の両立を目指し、グループ・グローバル一体でサステナビリティ経営を推進しています。行動計画を軸に、当社の事業所においては、サステナビリティ活動を業績評価の対象とすることでPDCAサイクルの実効性を高めています。

社会性マネジメント体制

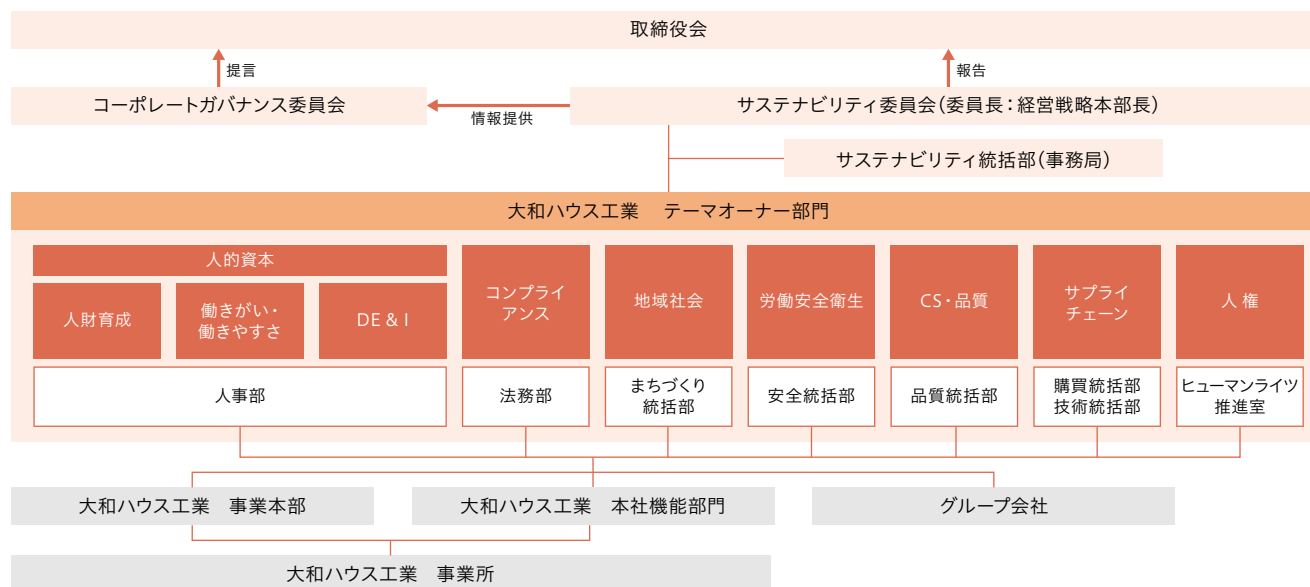
当社グループでは、委員長を経営戦略本部長（取締役常務執行役員）とする「サステナビリティ委員会」を設置し、年2回以上実施しています。当委員会では、当社グループが取り組むべき社会性分野を中心とした重要課題について審議・決定し、当該決定に関する全社の取り組みを指示・統括しています。また、中長期の企業価値向上に向けたビジョン・戦略の実効性を高めるため、当社の社会性分野に関する重要な事項は、サステナビリティ委員会から「コーポレートガバナンス委員会」に必要に応じて情報提供を行う体制になっています。社外取締役や社外監査役をメンバーに含むコーポレートガバナンス委員会では、提供された情報を多様かつ長期的な視点で討議し、取締役会に提言することにより持続可能な企業経営を可能にしています。なお、中期経営計画に合わせて策定している社会性行動計画「エンドレス ソーシャル プログラム」は、サステナビリティ経営に関する重要な事項であるため、取締役会への報告事項としており、年に一度、サステナビリティ委員会が取締役会に進捗状況を報告し、適宜、戦略や目標、計画などの見直しを行っています。

2025年度は、次期社会性行動計画「エンドレス ソーシャル

プログラム（ESP）2029」策定の骨子について取締役会で審議を実施。人的資本関連の重点テーマについて、財務情報の範囲と整合するよう対象範囲を拡大し、グループ一体での方針展開および施策実施を進めること、また、10年後のマイルストーンとして2035年の長期目標を設定し、バックキャ

スティングでの行動計画を策定するよう、指示を受けました。新たに策定されたESP2029に基づき、社会性領域に関する社会課題への対応をグループ一体で進めるとともに、企業価値の向上を加速させ、“将来の夢”（パーパス）の実現への歩みを着実に進めていきます。

■社会性マネジメント体制



📖 P120 コーポレートガバナンス体制図

■各会議体における役割

会議体	主なメンバー	開催頻度	主な役割
取締役会	取締役、社外取締役	月1回程度	戦略の監督
サステナビリティ委員会	経営戦略本部長、環境・社会性分野の重点テーマの担当役員、本社機能部門長	年2回以上	戦略の立案・審議・決定、全社管理指標の進捗管理
ESP役員レビュー (重点テーマごとに開催)	重点テーマの担当役員、テーマオーナー部門長、KPIオーナー部門長	年2回程度	戦略の実行、個別管理指標の進捗管理